

2008年3月期(2007年度) 決算説明会における質疑応答

2008年5月15日

質問者A

- Q 08年度の税引前当期利益はどのぐらいを予想していますか。
- A 経常利益の計画1, 350億円に対して、恒常的に進めるべき構造改革費用として100~200億円程度想定して税引前利益の計画をたてています。ただし現在具体的なアイテムが決まっているわけではありません。
- Q 研究開発費について。セグメント別の計画はどうか。07年度は戦略費用を各セグメントとは別枠で計画していましたが、08年度もそのような計画がありますか。
- A 研究開発費については、全社で3, 750億円を計画しています。IT/NWソリューションで1, 700億円(前年度比+135億円)、モバイル/パーソナルで500億円(前年度比+42億円)、エレクトロデバイスで1, 200億円(前年度比+22億円)、その他で350億円を計画しています。中期的な売上成長のための開発費については、08年度は前年度からの継続案件として、期初からセグメント別の計画値に織り込んでいます。
- Q 携帯電話、パソコンの出荷台数見込みはどうか。携帯電話の出荷台数の伸びは全部国内で計画していますか。
- A 携帯電話は実績480万台に対し、08年度は約700万台で、全て国内向けの計画です。パソコンは実績267万台に対し275万台の計画です。

質問者B

- Q NECエレクトロニクスの通信向け半導体事業は、過去5年間で売上が半減するなど競争力がないように見えますがどうして継続しているのでしょうか。NECエレクトロニクスのマネジメントが携帯電話機向け半導体事業から撤退したいと言ったら、親会社であるNECは、どのように対応するのですか。
- A NECエレクトロニクスの通信向け半導体事業は、NECエレクトロニクス自身とその市場との問題ですので、その業績について当社が評価を述べるのは適切ではないと考えます。
携帯電話機向け半導体事業についての判断はNECエレクトロニクスが決めるべき問題であり、NECが決める問題ではないと考えます。
- Q NECは5000円の価格でNECエレクトロニクスの株を買うという提案を断りましたが、NECエレクトロニクスの今の価格は2400円程度と大きく落ちています。オファーを受けなかったことでNECの株主に対して損失を与えたことにはなりませんか。
- A NECエレクトロニクスは漸く業績や株価が回復してきたところですが、力のある会社であり、より高い利益率を達成することは充分可能と考えています。これが実現すれば、株価にも反映されるでしょうから、株主に対して損失を与えたとは考えていません。

質問者C

- Q 08年度の携帯電話出荷目標約700万台について、どのように実現する計画ですか。ソフトバンクへの販売再開や、OEM/ODMなどを予定しているのですか。また、08年度の携帯電話機事業の売上は1000億円近く伸びる計画である一方、利益は30億円程度の増加に留まる計画ですが、その理由は何ですか。
- A 携帯電話の出荷計画700万台は、かなりチャレンジングな目標です。しかしながら、この事業でこれまで以上に収益性を高めるためには、将来的に1000万台規模の出荷を目標にするべきだと考えています。この目標を実現するために、今年度はNTTドコモ向けのシェアを高めることや他の通信事業者への供給再開などを検討しています。
- 利益計画については、販売機種数を増やすため、前年に比べて開発費が増加することに加えて、新たな事業者に対して出荷を開始する上で必要となるプロモーション費用の増加などを見込んでいます。
- Q 08年度の為替変動の影響について、NECは現在1ドル=105円の想定ですが、仮に1ドル=100円を前提とした場合にはどのような影響がありますか。
- A NECグループでは、NECエレクトロニクスを除くと輸入額の方が大きいため、仮にNECグループ全体でも1ドル=100円を前提とした場合には利益が増加すると考えられます。現在の前提である1ドル=105円を1ドル=100円とした場合には、約20億円から30億円程度の増益になる計算ですが、為替による増益効果は商品の価格競争などで相殺されてしまうこともあるため、それらが全て利益に結びつくものではありません。
- Q 07年度の年間為替レートを教えてください。
- A 上期・下期を単純平均すると1ドル=115円くらいで推移しました。

質問者D

- Q 1月時点の予想は営業利益が1300億円でしたが、これに比べ、1568億円と改善しました。その理由を説明してください。
- A 営業利益では1月の計画に比べてモバイル/パーソナルソリューション事業で170億円、NECエレクトロニクスで51億円、その他で改善しました。ITプロダクトやITサービス/SIも、4Qに売上利益が集中する季節性が07年度に強く出たため、改善しました。
- Q 08年度は売上高成長を目標とするとのことですが、その背景は何ですか。
- A NECの過去10年間の売上高の推移を見ると、4.5~5兆円の間にとどまっています。売上増により利益成長を実現したいと考えています。
- Q 08年度の携帯電話の出荷台数目標700万台は、前年度の480万台に比べ大幅増となります。ドコモ以外の事業者への端末供給など新しい施策が含まれているとの事ですが、どこまで確実性のある目標と考えていますか。
- A 全て確実性があるということではありませんが、顧客との話し合いを進めており、それを考慮して計画を立てています。
- Q ネットワークシステムの下期の売上が伸びる計画になっている背景について説明してください。
- A 海外向けのパソリンク、海底ケーブルシステム、さらに光ネットワークなどが伸びる計画です。また国内も下期に回復感が出てくることを期待しています。

質問者E

- Q ネットワークシステムの08年度の利益は前年度比増益とのことですが、NGN、パソリンクの増、基地局の減などの製品構成比の変化について教えてください。
- A 売上の増減でご説明します。キャリア向けネットワークシステムのうち国内向けが3分の2を占めますが1桁後半の伸びを計画しています。海外は+10%強の見込みです。
- Q NGN構築事業の売上高は、07年度は2000億円とのことでしたが08年度はどうですか。
- A 08年度は約3000億円の計画と、引き続き成長を計画しています。
- Q ネットワークシステムの為替インパクトはどうですか。
- A 輸出が多いので円高ではマイナスのインパクトがあります。
- Q フリー・キャッシュ・フローの08年度の計画はどうですか。
- A 600億円の収入を計画しています。

質問者F

- Q 法人税等の08年度の計画について教えてください。まだ税率が標準税率より高いようですが、どうですか。
- A 07年度にはNECエレクトロニクスやNECTーキンといった赤字子会社の影響があり、さらにこれらは繰延税金資産に対する評価引当金の計上といった特殊要因があったため、税率が高くなりました。08年度にはそのよう特殊要因は発生しないと見えています。税率差異となる要因として、会計と税務の考え方の違いによる差異が例年100～150億円程度あります。たとえば交際費の加算やのれんの償却費の加算などです。
- Q 株価が低迷したため08年度の年金積立不足額が増加しましたが、この積立不足額は何年間で償却するのですか。また今後株価が上がった場合には、年金費用の減少の効果が見込めると考えられますがどうですか。
- A 年金資産は1年前に比べ1千数百億円程度減少しました。不足額は従業員の平均残存勤務期間の13年で償却するため約120億円の費用増の影響があります。年度末の年金積立状況で翌年度の年金費用が決まるため、今後株価が上がった場合は、今年度ではなく来年度に費用改善の影響が出ることとなります。
- Q 08年度より会計基準が変更になり棚卸資産の評価方法が低価法となりましたがその影響はどうですか。
- A 当社は従来より低価法を適用しているので影響はありません。

以上